FT-2450MF　取扱説明書

Field TALK+

作成者:株式会社城山

作成日:2026 年 5 月 29 日
Ver.1.3

内容

1. はじめに 3
1.1. 製品箱同梱品 3
1.2. 製品の概要 3
1.3. 防塵・防水機能 4
1.4. IP 表記ついて 4
本書記載する保護程度 4
1.5. 自動車運転時のご注意 4
1.6. 電波法上のご注意 4
1.7. バッテリーのご注意 5
2. 安全上のご注意 6
2.1. 免責事項ついて 6
2.2. 危険 6
2.3. 警告 7
2.4. 注意 7
2.5. 保証書 持込修理 8
2.5.1. お客様へのお願い 8
3. 各部の名称と機能 9
3.1. 本体 前面部・側面部 9
3.2. 簡単使用方法 10
3.2.1. 充電を行う 10
3.2.2. 電源を入れる 10
3.2.3. 初期使用時の設定値 10
3.2.4. 動作モードを設定する(ファームウェア切り替え) 10
3.2.5. ID の設定をする 11
3.2.6. 各 ID の機能 11
3.2.7. 通信を開始する 11
3.2.8. 設定の注意事項 11
3.3. 機能説明 12
3.3.1. 電源オン／オフ 12
3.3.2. 音量調節 12
3.3.3. トークオン／オフ 12
3.3.4. 共有通信方式 13
3.3.5. チャンネル設定方法 14
3.4. ファームウェア切り替え(Tech Menu) 16
3.4.1. 中継モード(STA) 16
3.4.2. ダイレクトモード(10U) 17
3.4.3. 干渉回避モード 17
3.5. グループ設定 18

3.6. サイドトーン設定 18
3.7. マイクゲイン設定 19
3.8. セキュリティコード設定 19
4. 製品の仕様 20
5. 困った時のセルフチェック 21
5.1. 通信ができない場合 21
5.2. 音質が悪い場合 21
5.3. その他の確認ポイント 21
6. お問い合わせについて 22
6.1. 操作方法・設定に関するお問合せ 22
6.2. 修理・保証対応に関するお問合せ 22
6.3. 製品仕様・技術情報に関するお問合せ（販売代理店様向け） 22

§更新情報

更新 Ver 番号	更新日	内容
Ver.1.1	2026.3.31	5.1 通信ができない場合に、症状が改善しない場合の電源入れ直し手順を追記
Ver.1.2	2026.05.11	PDF 閲覧時の利便性向上のため、参照箇所へのリンク設定を追加 モード説明・チャンネ設定変更等の説明図更新
Ver.1.3	2026. 05. 29	各ページ下部に番号を追加

1. はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、快適かつ安全にご使用いただけるよう設計されています。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。

ご使用の前に必ずお読みいただき、内容をご理解のうえでご使用ください。

本書には、安全上のご注意、使用方法、保守・点検に関する情報など、重要な内容が記載されています。

誤った取り扱いは、事故や故障の原因となる場合がありますので、記載事項をよくお守りください。

今後とも末永くご愛用いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

1.1. 製品箱同梱品

本製品は、本体端末・ベルトクリップ・ネックストラップ・USB 充電ケーブル・イヤホンマイク・クイックスタートガイドで構成されています。

1.2. 製品の概要

本製品は双方向通信が可能な無線インターコムとして、相互間のスムーズなコミュニケーションのための機器です。

製品の特徴は次のとおりです。

- 本製品は、中継モード・ダイレクトモード・干渉回避モードの 3 つの運用モードに対応しています。
- 同じグループ内で、1・2・3 チャンネルに分離することが可能です（※A はすべてのチャンネルに参加できます）。
- 最大 10 人まで同時に会話することが可能です（中継モード：9 人、ダイレクトモード：10 人、干渉回避モード：6 人）。
- ノイズフィルタリング技術を採用しており、騒音が激しい場所でも快適にご使用いただけます。
- 内蔵型アンテナを採用しており、携帯性に優れています。
- セキュリティコードを適用することで、高いセキュリティ性能を実現しています。
- バッテリーは取り外し可能で、バッテリーのみの交換が可能です。
- 別途中継器を設置する必要がなく、現場ですぐにご使用いただけます。

1.3. 防塵・防水機能

本製品は、IP54 の防塵・防水性能がありますが、完全防塵・防水構造ではありません。

次のような使い方をすると、防塵・防水性能を維持できませんので、行わないでください。

- 雨天時に屋外で長時間使用しないでください。
- 水滴が付着している場合や濡れた手で、バッテリーやイヤホンマイクを付けたり外したりしないでください。
- 蛇口から出る水や洗浄機で直接本体を洗わないでください。
- バッテリーカバーやジャックのゴム栓が、すべてしっかりと閉まっていることをご確認ください。
  また、イヤホンマイクを挿し込む際は、しっかりと奥まで押し込んでください。
  カバーやゴム栓が閉まっていない状態で内部に液体や粉塵などが混入し、損傷が発生した場合は、保証の対象外となります。
- 0℃～45℃以外の環境では使用しないでください。

1.4. IP 表記ついて

機器内への異物侵入に対する保護性能を合わすための表記です。

「IP」に続けて 2 桁の数字を記載し、1 つ目の数字が防塵等級、2 つ目の数字が防水等級を表します。

なお、どちらかの等級が規定されていない場合、その数字の代わりに「X」を使用します。

本書記載する保護程度

- IP5X（防塵形）：試験用粉塵を 1m³あたり 2kg の割合で浮遊させた環境に 8 時間放置した後、機器が正常に動作すること
- PX4（防まつ形）：あらゆる方向からの水の飛まつを受けても、有害な影響がないこと

1.5. 自動車運転時のご注意

安全運転最優先するため、以下の点ご注意ください。

- 運転中は無線機の操作や表示部の注視をしないでください。
- 操作や表示確認が必要な場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- 外部の音が聞こえない状態で運転しないでください。
  また、一部の都道府県では走行中のイヤホンやヘッドホンの使用が法律で規制されています。
- 無線機を身体に装着したまま運転しないでください。

1.6. 電波法上のご注意

本製品は、電波法に基づき技術基準適合証明を受けた製品です。

以下のような行為は、電波法に違反するおそれがありますので、行わないでください。

- 製品を分解・改造したり、アンテナ部を変更したりしないでください。
- 無線機能を不正に増幅・変更・改造したりしないでください。
- 他の無線機器の通信を妨害するような行為は行わないでください
- 日本国外など、認証を受けていない地域で本製品を使用しないでください。

1.7. バッテリーのご注意

安全にお使いいただくため、次の点にご注意ください。

- 充電の際には、専用の充電器をご使用ください。
- バッテリーは濡れた手で扱わないでください。
- 水や海水などに濡らしたり、湿気の多い場所で使用・保管しないでください。
- 端子部分に金属物が触れないようご注意ください。
- 廃棄の際は、各自治体の指示に従って適切に処分してください。

2.安全上のご注意

本製品は精密機器扱いとなります。

人への危害や財産の損害を未然に防止し、正しくお使いいただくため、必ず記載事項をお守りください。

また、本製品を安全にご使用いただくため、注意事項は「危険」「警告」「注意」の 3 段階に分類しています。

これらは誤った使用による事故やけがを防ぎ、お客様と周囲の方の安全を守るための表示です。

各表示の意味を理解し、必ず従って正しく取り扱ってください。

⚠ 危険	この表示が付いた指示に従わないと、死亡または重傷を負う危険性が非常に高い状態を示します。
⚠ 警告	この表示が付いた指示に従わないと、死亡または重傷を負う可能性のある状態を示します。
⚠ 注意	この表示が付いた指示に従わないと、軽傷や製品の損傷などの事故が発生する可能性がある状態を示します。

2.1. 免責事項ついて

地震・雷・風水害などの天災や、当社の責任によらない火災、本製品の違法な使用、またはお客様や第三者が取扱説明書に反した方法で本製品を使用したことにより生じた損害については、法令により賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

2.2. 危険

⚠ 危険

- 分解、改造、はんだ付けは行わないでください。火災や感電の原因になります。
- 異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、直ちにバッテリーを本体から取り外し、販売店にご相談ください。

2.3. 警告

⚠ 警告

- 落下したバッテリーや変形・傷ついたバッテリーは、使用せず新しいものと交換してください。
- 製品指定のバッテリー以外は、使用しないでください。
- 湿気・ほこりの多い場所や火器のそばには、設置しないでください。
- 直射日光のあたる場所、車内のダッシュボード、高温になる場所、極端な低温や多湿の環境には、置かないでください。
  変形や故障の原因となります。
- テレビ、ラジオ、電子レンジなどの近くで送信しないでください。

2.4. 注意

⚠ 注意

- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 内部に異物を入れないでください。
- 本体清掃の際は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
  ベンジンやシンナーは使用しないでください。洗剤液に直接入れることも絶対にしないでください。
- 本体は、端子のゴム栓をしっかり閉めた状態で使用してください。
- 端子のゴム栓は、配線接続以外は必ず栓をした状態にしてください。
- 普段使用しない場合は、電源を切って保管してください。

2.5. 保証書　持込修理

保証期間は、お買い上げ日から１年間(本体のみ)となります。

修理をご依頼の際は、お買い上げの販売店へご相談ください。

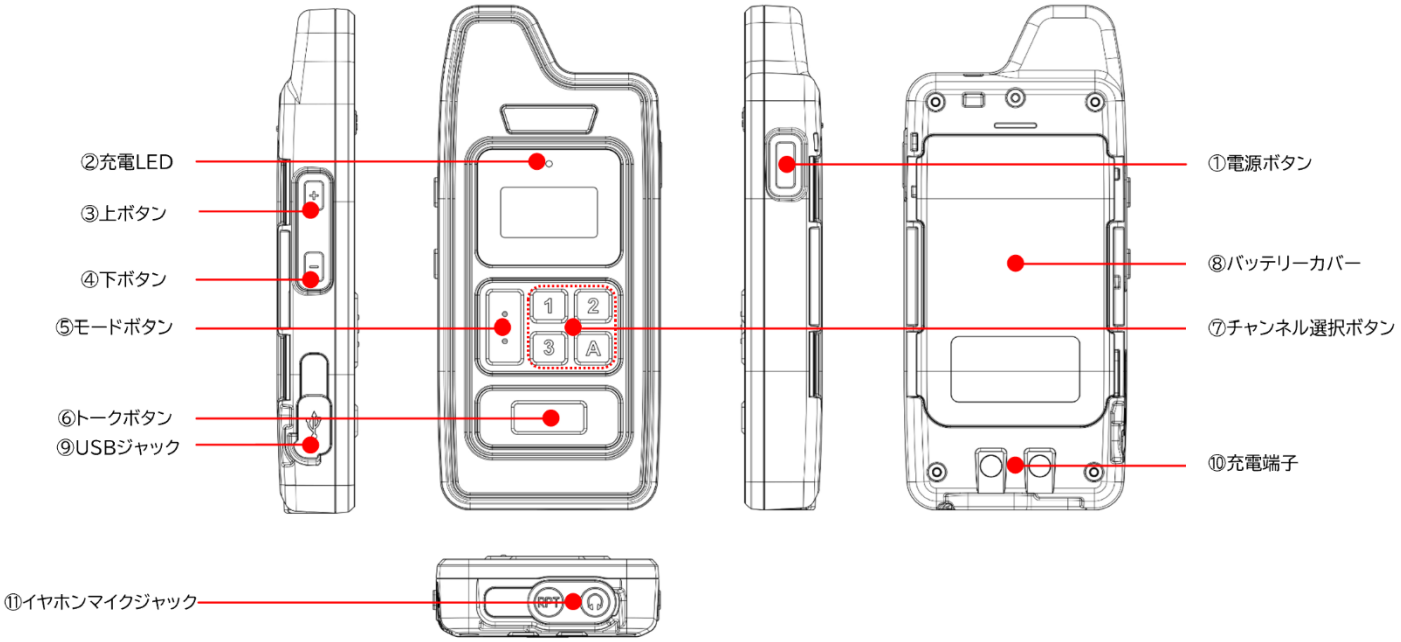
2.5.1.　　お客様へのお願い

修理の際はお手数ですが、ご購入日・ご住所・お名前・ご連絡先などをご記入のうえ、商品とともにお買い上げの販売店へお持ちください。

商品名	インカム　FT-2450MF	
保証期間	１年間	ご購入年月日:　　年　　月　　日
お客様	会社名／団体名: ご住所: ご連絡先: ご担当者名:	
お買い上げの販売店		

3.各部の名称と機能

3.1. 本体　前面部・側面部



名称	説明
①　電源ボタン	電源がオフの状態で 3 秒以上長押しすると電源がオンになります。 電源がオンの状態で 3 秒以上長押しすると電源がオフになります。
②　充電 LED	充電中は点灯し、満充電になると消灯します。
③　上ボタン	音量・チャンネル(グループ)・ID などの値を上げるときに使用します。
④　下ボタン	音量・チャンネル(グループ)・ID などの値を下げるときに使用します。
⑤　モードボタン	グループ・ID・サイドトーン・ファームウェア切り替え・マイク入力レベル・セキュリティコードなどの設定画面に入るときに使用します。
⑥　トークボタン	トーク機能のオン／オフを切り替えるときに使用します。
⑦　チャンネル選択ボタン	チャンネル 1(1)、チャンネル 2(2)、チャンネル 3(3)、または全チャンネル(A)を選択します。
⑧　バッテリーカバー	バッテリーを保護するカバーです。開閉してバッテリーを交換または取り外しできます。
⑨　USB ジャック	USB ケーブルを接続してバッテリーの充電や、ファームウェアのダウンロードに使用します。
⑩　充電端子	専用充電グレードルを使用してバッテリーを充電するための接点です
⑪　イヤホンマイクジャック	3.5mm イヤホンマイクを接続するためのジャックです。

3.2. 簡単使用方法

本製品は、購入後に簡単な設定を行うことで、すぐにご使用いただけます。

以下の手順に従って設定を行ってください。

3.2.1. 充電を行う

使用する無線機を開封し、USB ジャックまたは充電端子(充電ケース使用時)を利用して充電します。

充電中は赤色の充電 LED が点灯し、満充電になると充電 LED が消灯します。

3.2.2. 電源を入れる

電源ボタンを 3 秒以上長押しして電源を入れます。

3.2.3. 初期使用時の設定値

初回使用時は以下の設定がデフォルトで登録されています。

項目	設定値
グループ	0
ID	M
チャンネル	チャンネル1(ホーム画面に「CH1」と表示)
音量	3
トーク	ON
動作モード	中継モード(ホーム画面に「STA」と表示)
セキュリティコード	0000

3.2.4. 動作モードを設定する(ファームウェア切り替え)

ファームウェア切り替え(Tech Menu)により、使用する動作モードを設定します。

選択できるモードは以下の 3 種類です。詳細については、3.4(ファームウェア切り替え(Tech Menu))をご覧ください。

- 中継モード(STA)
- ダイレクトモード(10U)
- 干渉回避モード(06U)

【ファームウェアを変更する手順】

1. モードボタンと A ボタンを同時に 3 秒以上長押しします。
   画面が切り替わり、以下のようなファームウェア選択画面が表示されます。

   < Tech Menu >
   Mode of operation
   STA 10U 06U

2. 上ボタン／下ボタンで希望するファームウェアを選択します。
   各モード名(STA・10U・06U)が表示されますので、使用環境に合ったモードをお選びください。

3. モードボタンを長押しして確定します。
   ファームウェアが書き換えられ、本体の電源が自動的にオフになります。
4. 再度電源を入れると、新しいモードで起動します。
5. 一緒に使用する端末も、同じ手順で動作モードの設定を行ってください。

3.2.5. ID の設定をする

自分の ID を変更することができます。

どの動作モードを使用する場合でも、同じグループ内には ID:M に設定された親機を 1 台設定しておく必要があります。

【ID 設定の手順】

1. モードボタンを 3 秒以上長押しして設定画面に入ります。
2. 設定画面でモードボタンを短く押し、ID 設定変更画面に移動します。
3. 上／下ボタンを押して目的の ID を設定します。
   設定可能な ID は「M」「01」～「08」「S」「L」です。
   ※中継モードでは「01」～「07」、干渉回避モードでは「01」～「04」が設定可能です。
   ※「S」「L」以外の ID は重複してはいけません。
4. モードボタンを長押しするとホーム画面に切り替わります。

3.2.6. 各 ID の機能

- ID「M」:親機に設定されます。(グループ内で 1 台のみ必要です。)
- ID「01」～「08」:固定チャンネルが割り当てられた子機に設定されます。(同じグループ内で同一 ID は設定できません。)
- ID「S」:共有チャンネルが割り当てられた子機に設定されます。(グループ内で複数台設定できます。)
  他の「S」端末が送信中の場合は、その間送信することはできません。詳しくは 3.3.4(共有通信方式)をご覧ください。
- ID「L」:受信専用子機に設定されます。(グループ内で複数台設定できます。)

3.2.7. 通信を開始する

ホーム画面に切り替わると、相手端末と通信が可能になります。

最後に、端末にイヤホンマイクを接続してご使用ください。

3.2.8. 設定の注意事項

- 各端末が通信を行うには、チャンネル・グループ・セキュリティコードが一致している必要があります。
  詳しくはチャンネル設定方法 3.3.5(チャンネル設定方法)、3.5(グループ設定)、3.8(セキュリティコード設定)をご覧ください。
- 設定中は無線通信機能が動作しません。
- ID:S が割り当てられている端末は、チャンネルを共有して使用します。
  - トークボタンを押している間のみ送信します。
  - すでに他の ID:S 端末にチャンネルを使用されている場合は、トークボタンを押しても送信されません。
  - 共有通信方式を使用するため、複数の端末が同時に送信を開始すると競合が発生する可能性があります。

3.3. 機能説明

3.3.1. 電源オン／オフ

電源オン／オフを切り替えます。

- 電源がオフの状態で 3 秒以上長押しすると電源がオンになります。
- 電源がオンの状態で 3 秒以上長押しすると電源がオフになります。

3.3.2. 音量調節

音量を調整することができます。

- 電源を入れると、ホーム画面の下部に現在の音量レベルが表示されます。
- 本体左側面の「上ボタン」または「下ボタン」を押して、希望の音量に調整します。
- 音量は 0～8 の範囲で設定でき、初期設定値は「3」です。
- 音量「0」（ボリュームバーが表示されない状態）はミュート（消音）となります。

3.3.3. トークオン／オフ

トークボタンを使用して、通話の開始や終了を行うことができます。

端末の ID 設定により、トーク機能の動作が異なります。

- 親機（ID：M）は、電源を入れるとすぐにホーム画面に「TALK」と表示され、通話可能な状態になります。
  トークボタンを押すことで、トーク機能のオン／オフを切り替えることができます。
- 子機（ID：01～08）は、親機と同期すると通話可能な状態になります。
  このとき、トークボタンでトーク機能のオン／オフを切り替えることができます。
- 共有子機（ID：S）は、親機と同期していても常時送信状態にはなりません。
  トーク機能をオンにするには、トークボタンを押し続けている間のみ送信されます。
  他の ID:S 端末が送信中の場合は、トークボタンを押しても送信できません。
- 受信専用子機（ID：L）は、トーク機能を使用できず、受信専用となります。

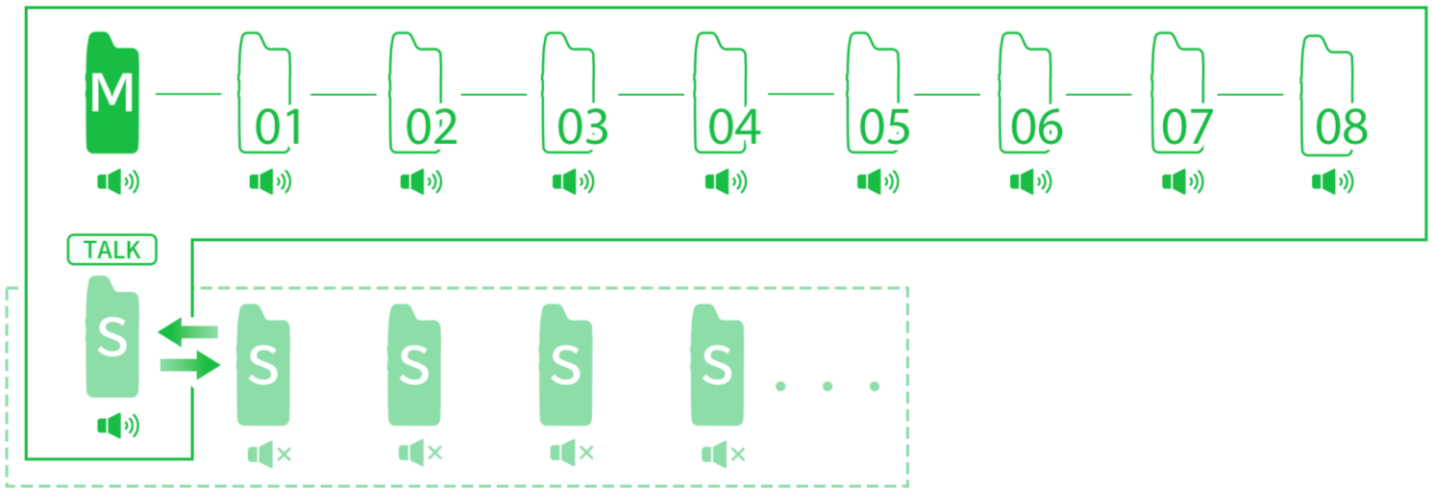
3.3.4. 共有通信方式

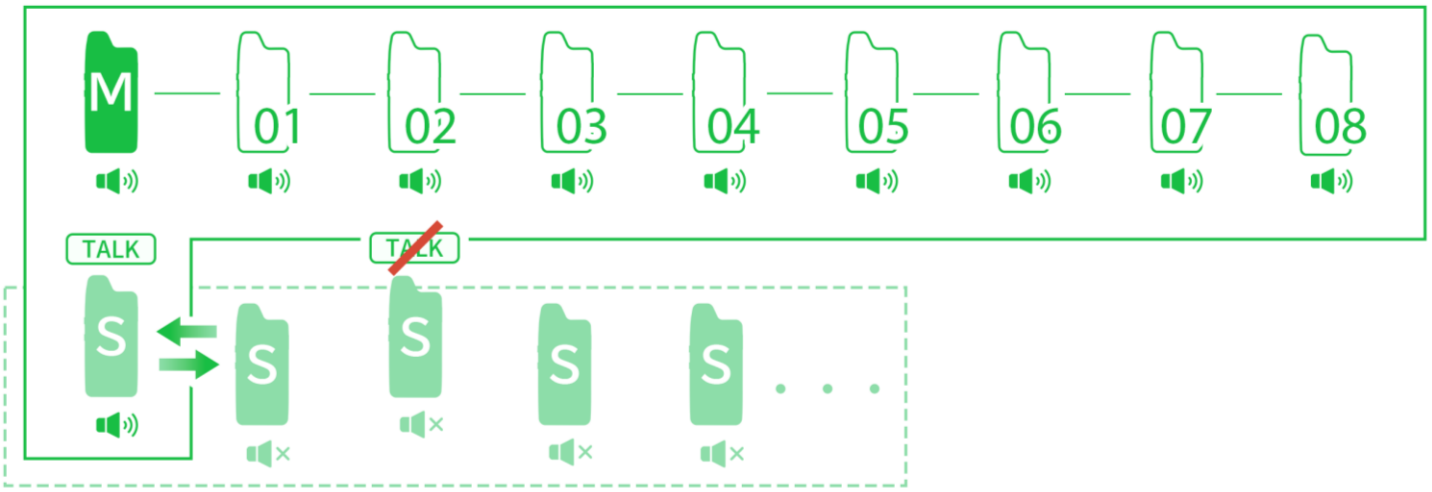
共有通信方式は、ID を「S」に設定した複数の端末同士で、チャンネルを共有して送信する方式です。

動作は一般的なトランシーバーと同様で、トークボタンを押している間のみ送信が可能です。

他の ID:S 端末が送信中の場合は、その間送信することはできません。*

* 『他の ID:S 端末が送信中の場合は、その間送信することはできない』ことの具体例





3.3.5. チャンネル設定方法

端末のチャンネルは、チャンネル選択ボタンを使用して変更できます。*

電源を入れた状態で、チャンネル選択ボタンを長押してチャンネルを切り替えます。

※通信を行うためには、通信相手の端末と同一のチャンネル・グループ・セキュリティコードを選択しておく必要があります。
詳しくは、3.5(グループ設定)および 3.8(セキュリティコード設定)をご覧ください。

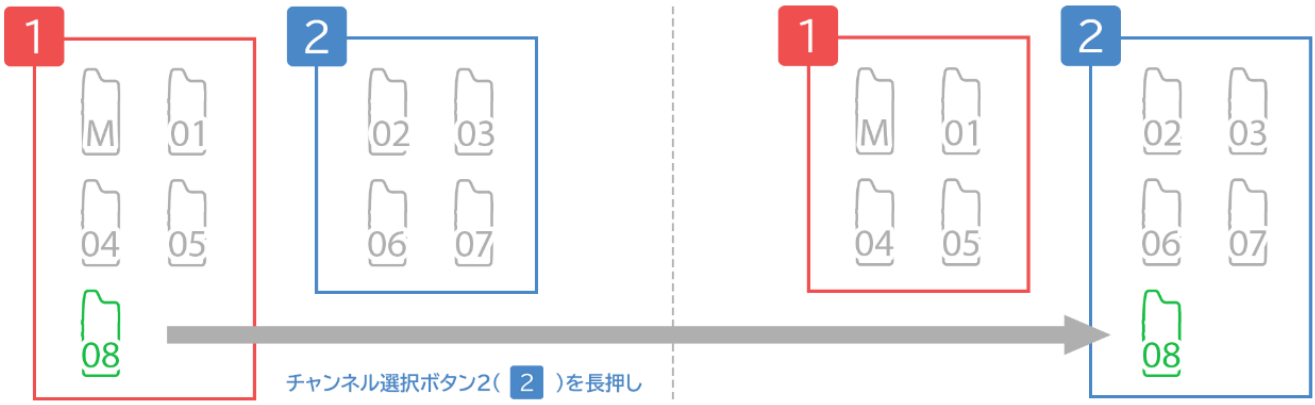
※チャンネルが異なる場合は、そのチャンネルでの通話を聞くことはできません。

※電源を切るとチャンネルは初期設定の「チャンネル 1」に戻ります。使用前に設定をご確認ください。

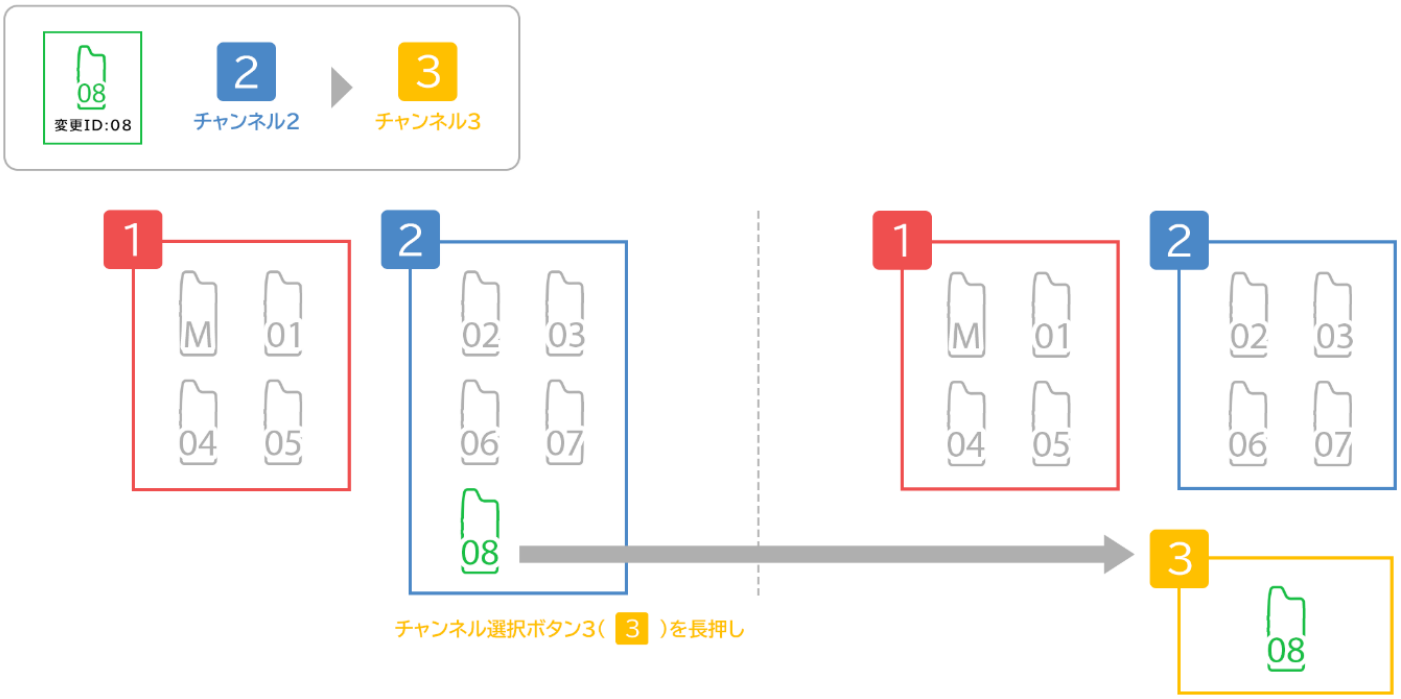
各ボタンの対応は以下のとおりです。

- ボタン 1:チャンネル 1
- ボタン 2:チャンネル2
- ボタン 3:チャンネル3
- ボタン A:すべてのチャンネルと通信可能

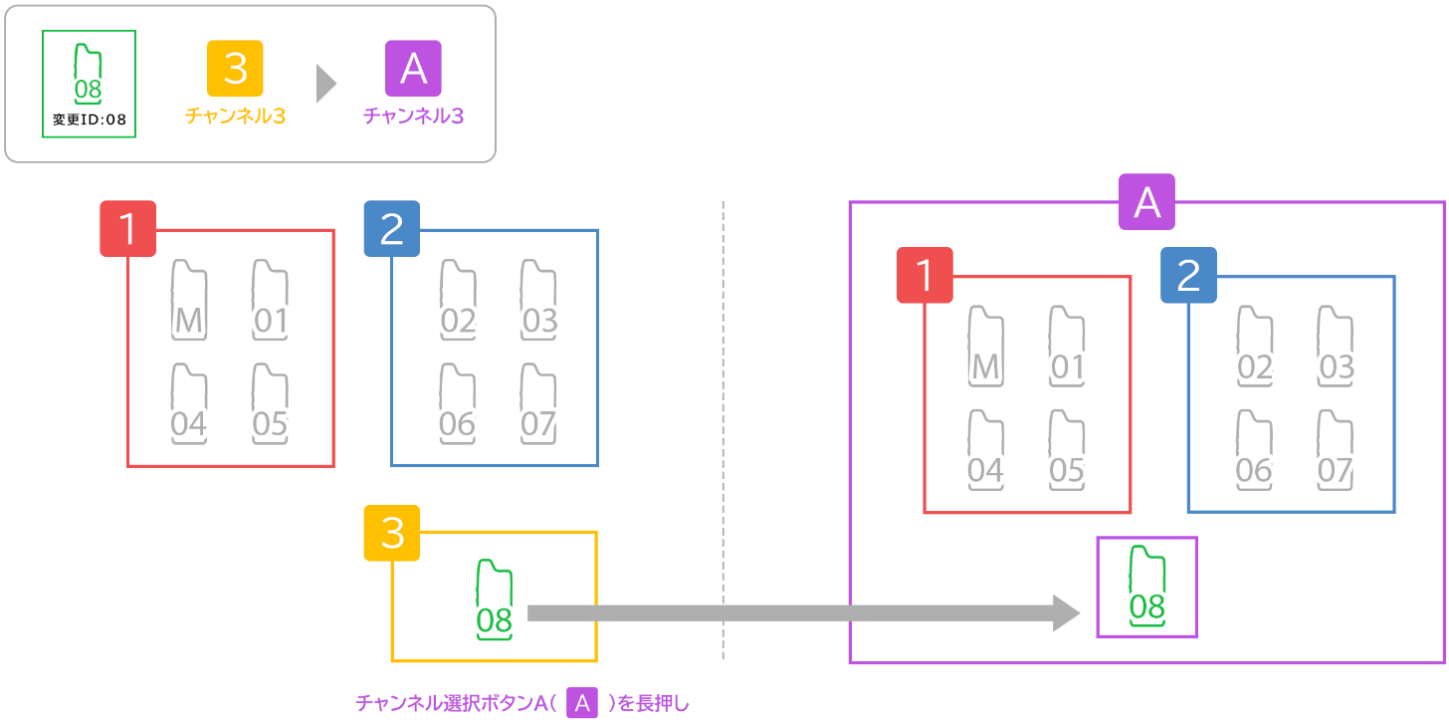
*『チャンネル選択ボタンを使用して変更』の具体例(ID:08がチャンネル1からチャンネル2へ変更した場合)



＊『チャンネル選択ボタンを使用して変更』の具体例（ID：08がチャンネル2からチャンネル3へ変更した場合）



＊『チャンネル選択ボタンを使用して変更』の具体例（ID：08がチャンネル3からチャンネル A へ変更した場合）



3.4. ファームウェア切り替え(Tech Menu)

端末の動作モードを決定するファームウェアを選択することができます。

利用環境や通信範囲に応じて、以下の 3 種類のモードから選択します。

3.4.1. 中継モード(STA)

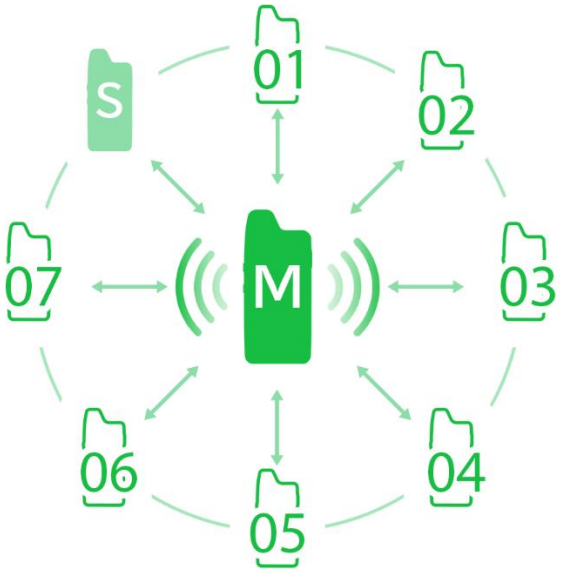
固定チャンネル端末(ID:01～07)、共有通信端末(ID:S)、受信専用端末(ID:L やその他 S)が、親機(ID:M)を介して接続されるスター(星形)構成*のモードです。※ID:M を含む最大 9 台

1 段中継機能を備えており、中継によって通信範囲を拡張したい場合に適しています。

親機は中央に配置することで安定した通信が可能になります。

ホーム画面には「STA」と表示されます。

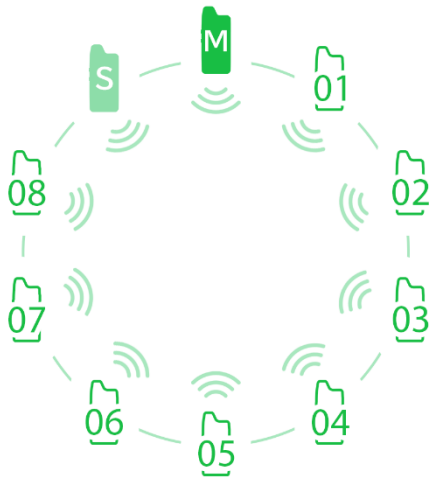
*『固定チャンネル端末(ID:01～07)、共有通信端末(ID:S)、受信専用端末(ID:L やその他 S)が、親機(ID:M)を介して接続されるスター(星形)構成』の具体例



3.4.2. ダイレクトモード(10U)

固定チャンネル端末(ID:M,01～08)、共有通信端末(ID:S)、受信専用端末(ID:L やその他 S)が直接接続する*モードです。
※ID:M を含む最大 10 台
同時通話人数が多い場合に適しています。
ホーム画面には「10U」と表示されます。

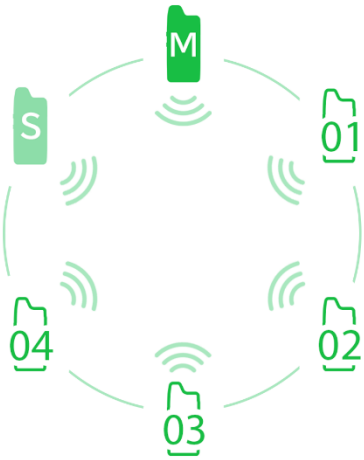
*『固定チャンネル端末(ID:M,01～08)、共有通信端末(ID:S)、受信専用端末(ID:L やその他 S)が直接接続する』の具体例



3.4.3. 干渉回避モード

干渉回避モードは、固定チャンネル端末(ID:M,01～04)、共有通信端末(ID:S)、受信専用端末(ID:L やその他 S)が直接接続する*モードです。※ID:M を含む最大 6 台
2.4GHz 帯を使用する他の機器が多い環境での通信に適しており、同時通話数は少ないものの、電波干渉に強く、安定した通信が可能です。
ホーム画面には「06U」と表示されます。

*『干渉回避モードは、固定チャンネル端末(ID:M,01～04)、共有通信端末(ID:S)、受信専用端末(ID:L やその他 S)が直接接続する』の具体例



3.5. グループ設定

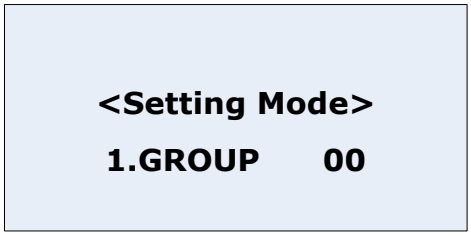
通信を行うグループを変更することができます。

通信を行うためには、通信相手の端末と同一のチャンネル・グループ・セキュリティコードを選択しておく必要があります。

詳しくは、3.3.5(チャンネル設定方法)、3.8(セキュリティコード設定)も併せてご覧ください。

【操作手順】

1. 端末の電源を入れます。
2. モードボタンを 3 秒以上長押しして、設定画面に切り替えます。
3. 端末左側の「上ボタン」または「下ボタン」を押して、目的のグループ番号を選択します。
   グループは 0～39 の範囲で設定できます。



4. 設定を完了するには、モードボタンを 3 秒以上長押ししてホーム画面に戻します。

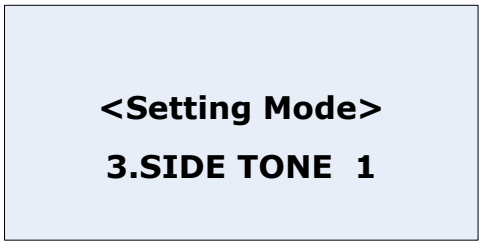
3.6. サイドトーン設定

サイドトーンは、自分の話している声を自分のイヤホンマイクでモニターできる機能です。

サイドトーンのレベルを調整したり、オン／オフを切り替えたりすることができます。

【操作手順】

1. 端末の電源を入れます。
2. モードボタンを 3 秒以上長押しして、設定画面に切り替えます。
3. 設定画面でモードボタンを 2 回短く押すと、サイドトーン設定画面に移動します。



4. 本体左側面の「上ボタン」または「下ボタン」を押して、サイドトーンの値をオフ・1・2・3・4・5 のいずれかに設定します。

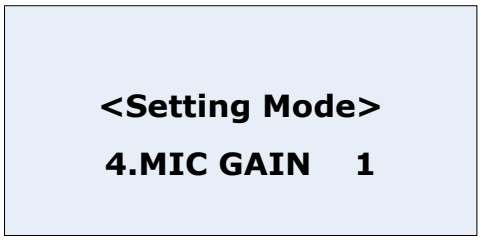
3.7. マイクゲイン設定

マイクの入力感度(音の拾いやすさ)を調整する機能です。

話し声の大きさや使用環境に応じて、音声が聞き取りやすくなるように設定します。

【操作方法】

1. 端末の電源を入れます。
2. モードボタンを 3 秒以上長押しして、設定画面に入ります。
3. 設定画面でモードボタンを 3 回短く押すと、マイクゲイン設定画面に移動します。
4. 本体左側面の「上ボタン」または「下ボタン」を押して、マイクゲインの値を 1～8 の範囲で調整します。
   (値を上げると小さな声も拾いやすくなりますが、周囲の雑音も入りやすくなります。)



5. 設定を完了するには、モードボタンを 3 秒以上長押ししてホーム画面に戻します。

3.8. セキュリティコード設定

セキュリティコードの値を設定することができます。

通信を行うためには、通信相手の端末と同一のチャンネル・グループ・セキュリティコードを選択しておく必要があります。

詳しくは、3.3.5(チャンネル設定方法)、3.5(グループ設定)をご覧ください。

【操作手順】】

1. 端末の電源を入れます。
2. モードボタンを 3 秒以上長押しして、設定画面に入ります。
3. 設定画面でモードボタンを 4 回短く押すと、セキュリティコード設定画面に移動します。
4. 本体左側面の「上ボタン」または「下ボタン」を押して、各桁の値を設定します。
   セキュリティコードは 4 桁で、各桁に 0～9 および A～F の文字を設定できます。
   次の桁に移動するにはモードボタンを短く押します。
5. 設定を完了するには、モードボタンを 3 秒以上長押ししてホーム画面に戻します。

4.製品の仕様

同時通話(最大人数)	中継モード(STA)： 9人 ダイレクトモード(10U)： 10人 干渉回避モード(6U):6人
変調方式	GFSK
通信方式	FHSS / TDMA
通信距離	300m（L.O.S）
中継機能	あり
周波数	2.4GHz（2407MHz ～2476MHz）
グループ数	40 グループ
送信出力	3mW/MHz
騒音対策	ノイズ除去機能:90dB
防水防塵	IP54
傍聴防止	65,536 通り
動作温度範囲	0℃～45℃
電池容量	1,200mAh
電池種別	リチウムポリマー
連続使用時間	中継モード(STA) ID が M の場合:6.5 時間／ID が M 以外:8 時間 ダイレクトモード(10U): 9 時間 干渉回避モード(6U):8.5 時間
充電時間	5 時間
サイズ	120mm(H)x 53mm(W)x 19mm(D)
重量	104g（ベルトクリップなし） 120g（ベルトクリップ付き）
認証	TELEC 認証:あり
付属品	・本体・ベルトクリップ・ネックストラップ・USB 充電ケーブル・オープナー・イヤホンマイク ・クイックスタートガイド

5.困った時のセルフチェック

5.1. 通信ができない場合

- 電源は正しくオンになっていますか？ ▸▸3.3.1 をご覧ください。
- 通信相手とチャンネルは一致していますか？ ▸▸3.3.5 をご覧ください。
- 通信相手とグループは一致していますか？ ▸▸3.5 をご覧ください。
- 通信相手とセキュリティコードは一致していますか？ ▸▸3.8 をご覧ください。
- 通信相手とファームウェア(STA･10U･6U)は一致していますか？ ▸▸3.2.4／3.4 をご覧ください。
- 通信相手と ID が重複していませんか？ ▸▸3.2.5／3.2.6 をご覧ください。
- 同一のグループ内にマスター機(ID:M)は設定されていますか？ ▸▸3.2.5／3.2.6 をご覧ください。
- トークボタンは押されていますか？ ▸▸3.3.3 をご覧ください。
- (ID:S の場合)他の ID:S 端末で送信をしていませんか？ ▸▸3.3.3 をご覧ください。
- イヤホンマイクはしっかり奥まで差し込まれていますか？
- 音量設定が「0」になっていませんか？ ▸▸3.3.2 をご覧ください。
- 電波干渉が起きていませんか？干渉回避モードでもお試しください。 ▸▸3.3.4
- 上記をお試しいただいても改善しない場合は、本体の電源を一度切り、数秒おいてから再度電源を入れてください。▸▸3.3.1

5.2. 音質が悪い場合

- イヤホンマイクはしっかり奥まで差し込まれていますか？
- マイクゲイン設定の値は適切ですか？雑音が多い場合は値を下げてお試しください。 ▸▸3.7
- サイドトーン設定の値は適切ですか？ ▸▸3.6 をご覧ください。
- イヤホンマイクのケーブルが断線したりマイク部分の損傷がないか確認してください。
  ▸故障の場合はお買い上げの販売店へお問い合わせください。

5.3. その他の確認ポイント

- バッテリー残量は十分ですか？
- 防水･防塵性能を損なう状態で使用していませんか？ ▸▸1.3 をご覧ください。
- ファームウェアの切り替え後、再起動しましたか？ ▸▸3.2.4／3.4 をご覧ください。
- 本体やイヤホンマイクに異物や水滴が付着していませんか？
- 周囲に強い電波干渉減(Wi-Fiや電子レンジなど)がありませんか？

6.お問い合わせについて

本製品に関するお問い合わせは、内容に応じて次の窓口へご連絡ください。

6.1. 操作方法・設定に関するお問合せ

お買い上げの販売店へお問い合わせください。

6.2. 修理・保証対応に関するお問合せ

お買い上げの販売店へお問い合わせください・

保証書・修理について ▸▸2.5 をご覧ください。

6.3. 製品仕様・技術情報に関するお問合せ（販売代理店様向け）

国内総代理店 ： 株式会社城山 Field TALK＋事務局

・電話番号：03-5793-7110

・お問合せサイト：https://fieldtalk.shiroyama.co.jp/